

DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室 (旧 薬化学研究室)

2010. 04



ORGANIC CHEMISTRY

教授
佐野 茂樹
Shigeki SANO

平成21年度博士論文

・久次米 永子 「1-アザビシクロアルカンを基盤とする高歪み小員環化合物の合成研究」

助教
中尾 允泰
Michiyasu NAKAO

Key Words 機能性分子
高選択的反応 創薬化学

Members of Our Lab.



2010-04-05撮影
日本桜の名所百選・西部公園にて

学部薬学科2名・創製薬科学科3名
大学院博士前期課程6名・博士後期課程4名

分子創薬化学研究室では「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究の世界レベルでの展開を目指し、次のようなテーマに取り組んでいます。

- 1) ジケトピペラジンの分子構造特性に基づく機能性分子の創製
- 2) σ 対称環状炭酸エステルのエナンチオ選択的開裂反応の開発
- 3) α, β -不飽和カルボン酸の脱共役エステル化反応
- 4) フルオロオレフィンペプチドミメティクスの立体選択的合成
- 5) 抗糖尿病活性医薬品素材の探索研究

The main concern of this department is "development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs".

研究室の情報は下記ホームページに掲載しています。詳細についてのご質問等は、研究室(6階東)をお訪ね下さい。

URL <http://web.ph.tokushima-u.ac.jp/mmc.html>

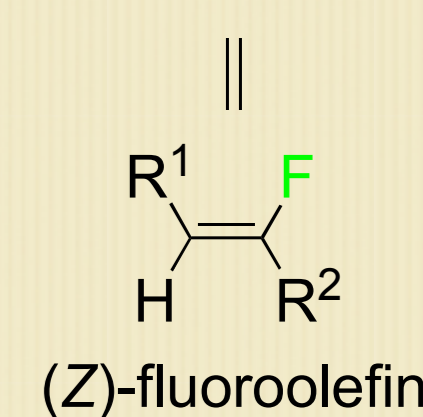
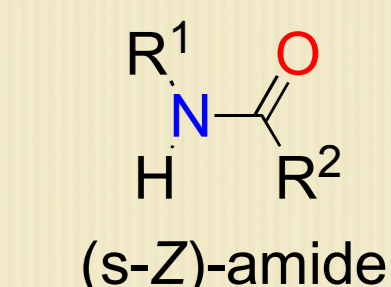
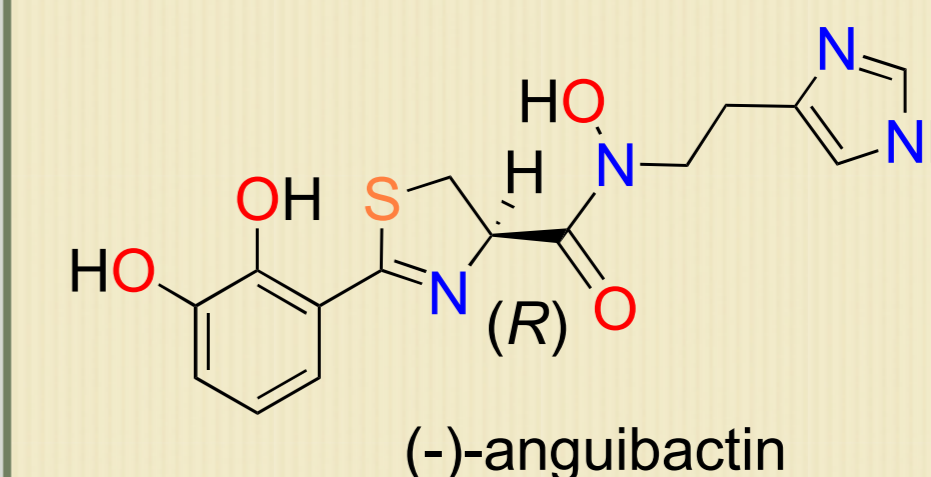
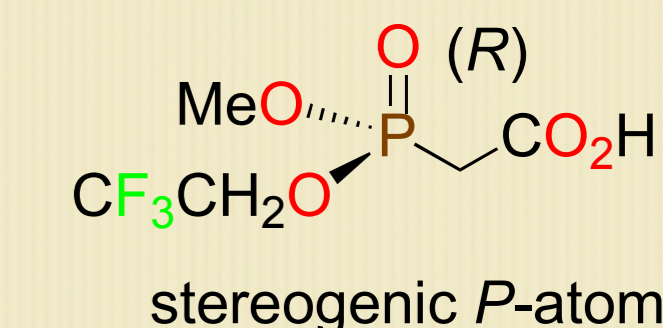
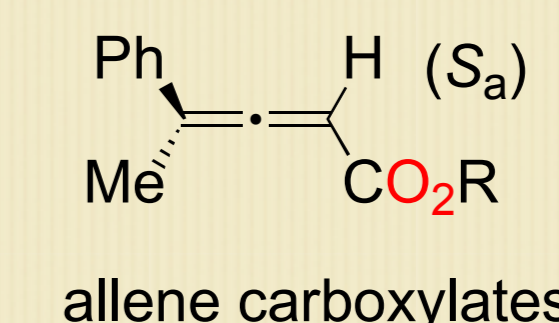
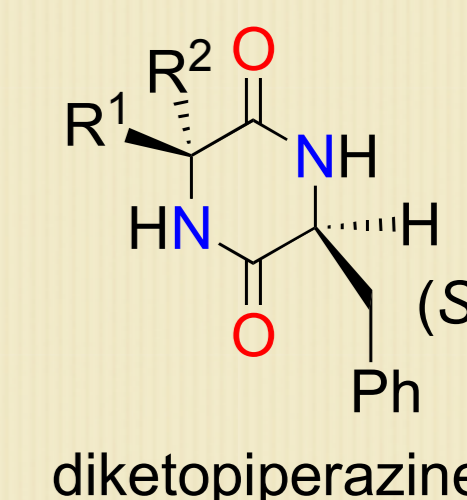
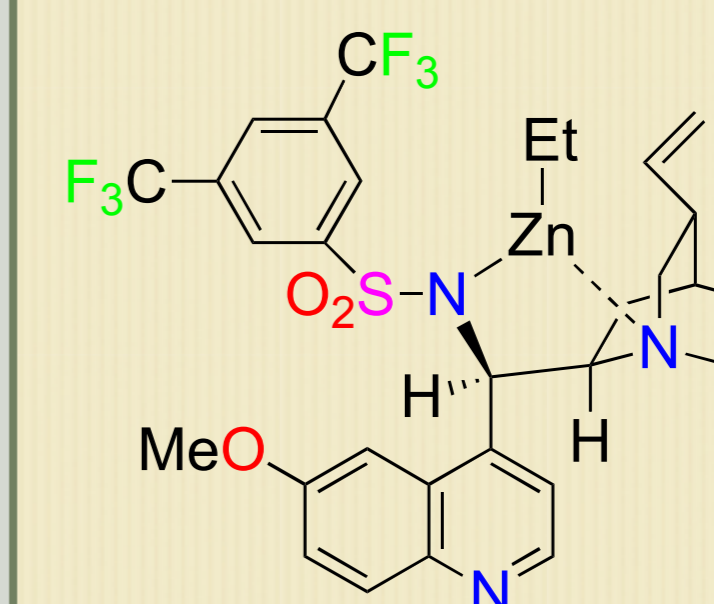
平成21年度修士論文

- ・時實 梨衣 「HWE反応を基盤とするグリセロリン脂質の合成研究」
- ・七瀧 浩志 「HWE反応を基盤とするフルオロオレフィン型グリシルプロリンミメティクスの合成研究」
- ・森本 晃允 「オルトフタルアルデヒド法ならびにエルマン法を基盤としたメタンチオール捕捉標識反応剤の合成開発研究」

平成21年度卒業論文

- ・堀部 将史 「 σ 対称環状炭酸エステルの触媒的不斉開環反応の開発」

Key Compounds



技術補佐員
竹内 菜穂子
Nahoko TAKEUCHI